

2026年7月 (No.445)

主な内容とページ

AI 景気は一握り、半導体関連上場企業 25 年度業績.....	1
「半導体・関連ソフト」と「商社」が二桁増収.....	2
利益率は低下、低調を示唆.....	2
66 社が最高売上を更新.....	6
利益額ではトップが信越からキオクシアへ.....	8
38 社が最高利益を更新.....	8
35 社が売上、利益ともに最高更新.....	8
猛暑と半導体(SRL だより).....	12

AI 景気は一握り、半導体関連上場企業 25 年度業績

半導体を収益の柱としている上場企業 126 社の 25 年度業績は成長をみせたが、全体では低調気味だ。

1. 対象 126 社の総売上は前期比 8.8%増の 26.03 兆円、経常利益は同 6.6%増の 4.03 兆円と増収増益だった。経常利益率は前年度の 15.7%から 15.5%に低下した。
2. 126 社中、66 社が売上、38 社が利益でそれぞれ過去最高を更新した。うち 35 社は売上および利益ともに最高を更新。輝く成果を達成した。
3. AI ブームが到来、世界的には好業績企業が増えているが、日系企業で伸びているのはほんの一握りで、これらの要因を除けば、実態は低迷が続行している。

猛暑と半導体(SRL だより)

暑い日が続く。欧州は、熱波が襲い、亡くなる人も増えている。日本列島も7月下旬から酷暑日が目立ち、熱中症で救護される人の数も記録更新。このままでは生活、社会活動への影響も増大、年を追って暑くなる温暖化現象が深刻化している。

「ファン付き服」、「空調服」がかなり目立ってきた。外で作業をする人に加えて通勤やスポーツ観戦で着用する例もみられる。これは日本生まれの技術で、市場は成長しているとか。ペルチェ素子による冷却プレートもあり、この場合は空調服より目立たず自然な形で使え、内勤や移動時に便利とされる。

空調服あるいは冷却プレートが、一般的になる時代が来るか。わからないが、熱対策の重要性は、より高まる。AI用のデータセンターでも、大量の水や電気を必要としている。電気自動車(EV)も発熱対策と冬季の暖房の効率化が大きな課題。半導体は、密接に関係、今後の進歩に期待したい。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2026 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2026 年 7 月(毎月 1 回発行)第 37 巻 7 号(通巻 445 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

July 2026, No.445

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2026

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円(税込み)